

【企業の特徴・情報】

尾州では数少ない「麻」素材の生産が中心。現代表は3代目で、2代目も現役で活躍されている。自社で企画・製造・アパレルへの直接販売まで一貫して行う。とてもアットホームな現場に、心温かく、憧れと同時に将来性を大いに感じられる。「尾州」のものづくりを守っていく気概がここにある。

【リレーを通して身につけたこと】

今回様々なことが初めての体験だった中で、特に生地 of 企画に奥深さとやりがいを感じた。糸の番手から色味、素材に組織にまでも凝りだしたら、ワクワクしてたまらなかった。実際には、お客様に求められているものを無限の組み合わせの中からピースを見つけ出さなくてはならない。この宝探しのような企画という工程に魅力を感じた。現場作業はミスを許されない、人の手作業の世界。これだけ人の温もりが加わるからこそ、愛され続けられる織物が生まれるのだ。実際に現場に立つことで肌身で感じる事ができた。

近藤毛織工場さんから私へ

名古屋モード学園 森遥香

【生地の特徴・混率】

春夏シーズンへ向けて、綿のコート地を提案。尾州産地と言えば、ウールという概念を取り払いたい。秋冬だけでなく、春夏でも十分に戦っていける産地なのでは。昨今世界中で唱えられている「サステナビリティ」を意識して、天然繊維のみを用いた。2色に見える生地の経糸は共通。一方を緯二重織にし、天然繊維が織りなす調和を試みた。裏テーマとして、表裏一体を掲げている。糸データ： 経糸 1/8.5(L60%,C40%) 緯糸 1/24(L70%,Si30%)、経糸 1/8.5(L60%,C40%) 緯糸(表) 1/10(C67%,W33%) 緯糸(裏) 2/60(Si100%)

【この経験をどう活かしたいか】

今回密に実習させていただき、より今産地がどのような状態なのか、この先どうあるべきなのかが見えたような気がします。この場をお借りして、近藤毛織工場様をはじめ、糸屋さんから整理工場さんまで大変お世話になりました。ありがとうございます。どなたもとても親切で、誇りに思える温かい産地です。少しでもこの地に恩返しができるようにものづくりを続けていきます。

